

附録：『神戸新聞』学童疎開関係記事一覧

No	出典(昭和)	見出し	内容
1	19.06.30	空襲の災禍から護れ！—老人と学童、乳幼児— 7月中旬に神戸、尼崎両市で勧奨	29日、県庁で人員疎開勧奨専門委員会開催、「老幼病者疎開促進要綱」を決定
2	19.07.02	疎開に時を藉す—酒倉や遊休倉庫は物資共同保管所に—学童、老幼病者は今月中に	国民学校初等科学童の(30学程度欠)防空空勢の推移に応ずる政府の適切な施策が近く発表されるだろう。
3	19.07.09	社説「学童の集団疎開」	「悪案の学童集団疎開方針が発表された。……集団疎開は集団待避ではない。……この際小乗的な情の絆を断って率先第二の国民をも国家のため、国策のため疎開せしめることを先ず第一に努めようじゃないか。……」
4	19.07.09	情報局発表—学童疎開近く実施—まず縁故先を頼れ、なければ集団疎開—強制はさげ父兄の協力を勧奨	8日、集団疎開せしむべき学童は国民学校初等科3年以上6年までの間を予定し、疎開先はあまり遠隔の地を避けるべく家庭との交通連絡に便利な土地を選定したい。…近くこれが細目を発表する見込み。
5	19.07.13	学童疎開、強制でない—飽くまで父兄の自発的を勧奨	12日、兵庫県では、南神戸、川島尼崎両市助役を内政部長に招致、伊藤内政部長、本村教学課長らが両市の実情を中心に懇談協議。14日には、山手国民学校に両市の国民学校長を集め、あくまで強制的にならぬよう当局の方針を明らかにする。
6	19.07.14	急げ、学童の「縁故先疎開」 —諏訪山校では3年以上の五割が申告	縁故疎開について強制にわたらぬ程度に消極的な勧奨をおこなうこととなった。縁故疎開は集団疎開に先んじて相当の成績を収める模様。
7	19.07.14	急げ、学童の「縁故先疎開」 —父兄に勧奨状—各校で保護者会	神戸市では、縁故疎開の強力な勧奨運動を展開。父兄に野田市長の勧奨文を送ると同時に、各学校ごとに保護者会を開いて学童疎開の重要性を徹底、積極的な勧奨を行い、第1回は20日、第2回は25日、第3回は今月末日を期して各学校から疎開見込および決定の学童数を報告させる。縁故疎開によって初等科全児童の3割を転出させる意気込である。
8	19.07.15	第8回近畿行政協議会開く—学童の集団疎開— 受入側と実施方法を懇談	第8回近畿行政協議会は、14日、大阪府庁参事会室で開催、河原田会長、近畿2府4県の各知事(兵庫県知事代理伊藤内政部長)ら各委員約30名が出席の外、防空総本部から永野総務局長、川上疎開課長、里見文部省青少年教育課長らが臨席。中心議題は、学童の集団疎開に関するもの。具体的な実施細目は、15日から大阪市大手前金■会館に兵庫、大阪両府県並に受入側の各県から教学警防の関係官中■、大阪警備府両参謀らが参加して決定することとし、解散。
9	19.07.15	神戸尼崎学童疎開の方針決—宿舎も食糧も心配 無用、父兄の負担は月10円—軍需工場付近の学校 から実施	14日、県教学課では神戸、尼崎両市の全国民学校長を山手国民学校に招致、本村教学課長、片山同視学、渡辺神戸市教育局長、中山同学務課長、坂本尼崎市教育部長、南波同教育課長出席下に校長会議を開催。縁故、集団疎開促進に対する学校長の積極的な協力を求めた。各校長は、近日中に保護者会を開いて趣旨を徹底させると共に、集団疎開申請者数を第1回7月20日、第2回同25日、第3回同30日の3回にわけて県へ報告することとなった。なお、本村県教学課長は、県の方針として以下を指示伝達「軍需工場等に近接している学校から先ず実現していく、疎開先は現在ハッキリ決定していないが、もし本県内だけで消化し切れなければ隣県の岡山に多少受け入れてもらう。宿舎は、寺院・別荘・料理屋などを借り上げる。」「学童100名につき、訓練2名、寮母4名、雑役人夫3人を附添わす。寝具、学校用品は最小限度持参。教場は疎開先の学校を借りるが、寺院などでも。食糧は農商省および県で世話をする。」「1名につき月10円が保護者の負担。事情により、全免の措置も」 「縁故疎開が全体の2、3割とみて、全体の4割3分までが集団疎開の対象、残存する2、3割の学童は各校に平等に統合配置する」
10	19.07.16	学童の集団疎開—受入側と緊密に協力	近畿行政協議会では、15日大阪大手前金閣会館で神戸、尼崎、大阪3市の学童集団疎開について打合会を開催。兵庫県からは、本村教学課長、加東警防課長ら近畿2府6県の教学、警防、大鉄局主務課長ならびに中部軍司令部大阪警備府両参謀らが出席し、疎開先を決定した。疎開実施府県ごとに、疎開学童の概数を受入先に仮割当を行って準備を進めると共に宿舎は民家を使用せず、一定数の基準を定めて使用建物を急速に選定して疎開側と受入側と緊密に協力して遺憾なきを期することとなり、輸送については交通機関の総合利用を図ることとし食糧学用品などの調達などに具体的打合せを行った。
11	19.07.18	学童疎開—父兄は月10円負担— 促進と実施の両要綱決	17日、情報局が「学童疎開促進要綱」「帝都学童集団疎開実施要項」を発表(実施先に神戸、一人月10円負担など)。縁故疎開を原則
12	19.07.18	縁故先へ三万人— 神戸・尼崎両市 8月から輸送開始	17日、兵庫県が集団疎開の全貌を発表、今月中に一切の準備を完了して8月から輸送を開始することとなった。対象は縁故先疎開の出来ない初等科3年生から6年生。大体神戸市23,700人、尼崎市6,300人、計3万人が目標。疎開先は県下で消化しきれない場合は岡山、鳥取両県で多少受け入れて貰う。
13	19.07.18	食糧は特別に配給—学童集団疎開実施要綱—	第一〜第七の条文を掲載。
14	19.07.18	24時間教育を徹底—岡部文部大臣談	「……少年学童が突に国民の後勁であり、次代の国家興隆の源泉をなすものであるからこれを安全な地域に保護しつつ少国民錬成の基礎教育を施すことは極めて■なことである」
15	19.07.22	学童の集団疎開—受入側と懇談、割当決	近畿行政協議会では、21日大阪府庁参事会室で、第2回学童集団疎開打合会を開催した。疎開側大阪、兵庫、受入側福井、石川、香川、徳島、鳥根の係官、井上四国行政協議会副参事官ら出席。兵庫県学童は、県下郡部のほか岡山、鳥取、鳥根へ各1万の受入概数を仮割当もこれにもとづいて疎開先宿舎その他施設を急速に調査するよう依頼した。

No	出典(昭和)	見出し	内容
16	19.07.22	学童疎開に日和見的な父兄 一縁故先と集団を両天秤にくづつく	神戸市では、7.15、16日に全市国民学校初等科ごとに一斉に保護者を開催。現在のところ、全市60校のうち報告のあったのは38校で、その結果、縁故疎開の予定数は全自動の2割6分に過ぎず、予想の3割を遙かに下回っている。親類縁者のあるものは、残らず縁故疎開をやるよう強力に勧奨。
17	19.07.25	学童疎開①大手を広げる山野一都会では味へぬ生活の喜び	兵庫県内に疎開した学童の様子。
18	19.07.27	学童疎開③牛をつれて田草とりへ	兵庫県内に疎開した学童の様子。
19	19.07.27	増産お手伝いの積りで一先着学童はもう裸足で出勤一加東郡	兵庫県内に疎開した学童の様子。
20	19.07.27	渉る“縁故組”一葦合区、父兄の疎開打合せ	縁故疎開で全市の最高率を示す葦合区では、26日会議室に区内国民学校長を集め、縁故疎開の手続その他につき打合せを遂げた後、学童疎開の実情を話し合った結果、父兄の認識は想像以上にはっきりしている。
21	19.07.28	学童疎開④おやつに豆10粒一御返返しにウンと働いてください一美濃郡	兵庫県内に疎開した学童の様子。
22	19.07.28	隣組がお手つないで一親も安心子供も喜ぶ一学童疎開朗報編	兵庫県内に疎開した学童の様子。
23	19.07.29	学童疎開②楽しい水泳や蝉取り一お百姓さんのご苦労には頭が下る一郷に入っては郷に随へ	兵庫県内に疎開した学童の様子。
24	19.07.29	学童疎開⑤資格満点の有馬町一お客には馴れています一問題は炊事だ	兵庫県内に疎開した学童の様子。
25	19.07.30	学童疎開実施要項一進学は地元でも一非常時に数日分の食糧を携行	集団疎開学童数を神戸市23,700名、尼崎市6,300名と概定し、その概数を各学校に仮割当を行い、着々準備が進められているが、県教学課では29日その実施要領ならびに細目を発表した(詳細)
26	19.07.30	疎開費用1,030万円	25日現在で、神戸市の疎開希望数は、該当総数68,471名中、集団2,835名、縁故2,746名、残留20,686名、尼崎市該当総数15,913名中、集団3,817名、縁故6,576名、残留4,732名となっているが、戦局の重大化は父兄へ反映して集団、縁故共に漸次増加の傾向を示している。
27	19.07.30	学童疎開一大和の精神が肝腎一橋公婦人の大愛に生きて	「全市の国民学校ではこのごろ一斉に「学童疎開」を課題に父兄会を開いている。」「集団の方は受入側の都合で、人数に制限があるのだ…、要注意の虚弱学童を持っている気の毒な親…」「自分の家族を故郷に帰して自分は教員と共に地方に疎開し共に生きていきたい」と願う男の先生」「親の悩み：級での割当人数を超過したとかでその中の3人程は残留組にされるそうで子供が淋しがっています」
28	19.08.01	学童と共に24時間一疎開が描く師弟の期待一或る先生の手記	「23,700名、神戸市だけでもこれだけの学童が集団的に疎開する。これに附添っていく行くべき先生は474名、寮母948名、雑用夫711名。教育者は今こそ自己の使命に奮起すべき秋だ…辞表すら用意している職員もある声を聴くのはどうしたことであろうか……」
29	19.08.01	疎開学童壮行会	7月31日、小野柄校で終了式後、660名の壮行会
30	19.08.01	県教学課談	附添訓練は、各校ごとに自発的希望者を調査中、不足の場合は指名
31	19.08.01	疎開学童一配給は従来どおり一農商省、受入県へ通達一通達要旨	31日、食糧配給について、14県(鳥取はなし)に次官通牒。現行の配給量を疎開先でもそのまま受けられるように、受入れ県が立替配給する。
32	19.08.02	近く臨時市会一集団未だし一縁故疎開は優勢	神戸市学務課調査によると、31日現在の集団疎開決定者は21773名、縁故疎開者は38767名。集団疎開児童は、神戸市割当の23700には未だ達せず、縁故は当初予定の30000名を越える。
33	19.08.02	近く臨時市会一集団未だし一縁故疎開は優勢	集団疎開にともなう追加予算審議の臨時市会は12日頃の予定
34	19.08.04	縁故疎開既に3万一集団はまづ現地視察一県の学童疎開	神戸市内の7校、尼崎市の2校、武庫の4校は疎開から除外、全児童残留。県内に2万、岡山県へ6千、鳥取県に4千名疎開させる方針
35	19.08.04	縁故疎開既に3万一集団はまづ現地視察一県の学童疎開	3日、県教学課では、各地方事務所警察署宛受入先宿舎の借上条件改修築箇所などにつき契約を行うよう通牒
36	19.08.04	縁故疎開既に3万一集団はまづ現地視察一県の学童疎開	県教学課は、7日から係員を数班に分けて派遣、実地調査を行う。県外へは、伊藤内政部長が出張、両県当局と懇談、協力を依頼するとともに、受入状況を視察。
37	19.08.04	現地でも募る寮母の待遇決る	寮母は目下両市で募集中、不足の場合は、疎開先地元から募るはず。待遇は月給本俸50円、特別勤務手当15円、戦時手当本俸の1割、臨時家族手当1人5円。
38	19.08.05	学童と共に疎開応召一附添教師の偽らざる心境一行先の決定は早く一一家分散の犠牲を払ひ待機の先生	教員としても一切の不平不満を抹殺して、学童と共に「疎開応召」する決意を持することは当然であるが、それだけに教員の憂いを一日も早く解消せしめることが目下の急務
39	19.08.05	異色の「寮母分隊」一バリカン片手に母子ともども	神戸葦合区宮本国民学校では、「中年のお母さん」「特技のある人」を条件としたため、異色の「寮母分隊」が組織されつつある
40	19.08.05	主要食糧品一疎開と同時に配給	4日、農商省は、阪神地区の学童集団疎開に対しても配給が疎開開始と同時に実施されるよう、岡山、鳥取県などに対して次官通牒を發し、指令した。
41	19.08.08	貯蓄一残留組にまけぬよう疎開先でも頑張ろう	疎開により各国民学校ごとに結成している国民貯蓄組合員も減少する。縁故、集団疎開児童とも現在使用中の通帳をそのまま引き継ぐ。
42	19.08.08	何分よろしく…市長の依頼状一縁故疎開児童輸送は4期に分けて	縁故疎開は、神戸市で39000に上り、夏休み殊にお盆を中心に疎開していく情勢、市学務課では、大阪鉄道局と打合せ、11日から30日までを4期に分けて計画的に縁故疎開学童の鉄道輸送を完了することになった
43	19.08.08	疎開費用上程一神戸市臨時市会	12日、臨時市会を招集、学童集団疎開費798余円の追加更正予算およびこれに関係する2件を上程審議する

No	出典(昭和)	見出し	内容
44	19.08.11	学童の集団疎開費—国庫は8割5分—本年第3回臨時県会で内示	11日、学童集団疎開に関する本年度追加予算6,698,646円を上程、審議するため、臨時県会が開会。(以下、予算内訳が記載)
45	19.08.11	学童の集団疎開費—国庫は8割5分—本年第3回臨時県会で内示	10日、県会議員団で全員総会を開催、予算内容の内示をもとめた。内政部長から、疎開の概要、予算額の基礎の説明の後、各議員から質問。
46	19.08.11	学童の疎開数—神戸、尼崎両市で約6万5千名	10日の臨時県会内示会で伊藤内政部長が示した両市の7月31日現在の集団疎開の申請者数は、神戸市23717名。神戸市は60校が対象となり緊急度に応じて、甲37校、乙23校に区分し、県内2万の消化から逐次着手終了後、岡山県へ6,000名、鳥取県へ4,000名を疎開させるはずで、8月中に完了の見込み
47	19.08.11	子供の喧嘩に親出すな—共同・犠牲・自治の精神で—集団疎開かくあるべし	国鉄では、関係各駅で縁故疎開学童のための乗車券の特別販売所を開設。神戸でも三宮駅構内の東亜交通公社で10日から販売をはじめた。
48	19.08.11	はかどる疎開—官民一体実る熱意—	神戸市では11日から17日まで、国民学校の夏期休暇を実施。11日から縁故疎開の第1期優先輸送が開始。
49	19.08.12	学童集団疎開—僕らの行先本極り—神戸市の1万人は岡山、鳥取両県へ、残る2万人は県内へ順次送り出す	兵庫県は、11日県内の疎開地域、受入収容数を決定。疎開学童約3万人の3分の1の1万人は岡山、鳥取の二県に疎開させる。その1万人は神戸市の学童とする。疎開は、県内疎開宿舎を先とし甲地区から順次疎開を実施し、県内に余裕がなくなった後県外へ。神戸市では、各区と県内各郡とを指定結合させる。結合された各区の学童が郡内疎開宿舎を満たした後、残部を他県に疎開宿舎を指定する。(以下、各区の疎開人数、甲乙指定校が記載)
50	19.08.13	学童集団疎開費—無修正、一致可決—決戦下の京都臨時市会	12日、神戸市学童集団疎開に要する総予算7,978,866円(内訳を記載)を可決
51	19.08.13	疎開後は、学校統合は行はぬ—残留学童で男女学級も編成	残留する約4万の学童の教育に対する方針が大体決定、近く校長に指示。統合はせず、余剰教室は臨時教護所などに使用。学級編成は、1・2学年は本年度中は現行を維持、3年以上は再編成するが、男女学級、異なる学年をまとめる複数学級を編成することもある。
52	19.08.13	疎開学童に事よせて工場を休むな	神戸製鋼では、「学童疎開」の親たちに与えていた前後三日の休暇もこれからは激重な家庭事情書を差し出させることとしたうえ「現下もっとも大切な生産を休んでまで子供のために出掛け廻るといふことはむしろ国家のためによろしくない」
53	19.08.13	寮母養成講習会	県産報では、十九年度第一回「寮母養成講習会」を18日を皮切りに西本願寺兵庫別院(神戸区山本通り3丁目)で開く(第1回:18日-9月6日、第2回:9月18日-7日、第3回:10月18日-11月7日、応募資格者:戦没兵士の未亡人、女子中学卒業程度の25歳以上の独身者、その他看護婦、産婆または栄養士の免状を有する婦人に限る)
54	19.08.16	社説「疎開学童激務隊の組織」	社説
55	19.08.16	学童疎開—準備は十分出来ました—元気で出発しませう	県下に2万人、お隣の鳥取、岡山両県に1万人、皆さんの集団疎開の行先が決まりました
56	19.08.16	打合に岡山へ—けふは鳥取県訪問	伊藤内政部長、南神戸市助役の一行は、15日岡山県庁を訪問、集団疎開に伴う打合せ。16日鳥取県庁を訪問する。
57	19.08.16	先陣出発決まる—神戸は21日、尼崎は24日	神戸市:先発部隊は18校、1924名で、湊川神社で20日社行会を挙げる
58	19.08.16	疎開に饒ける—松島神戸市厚生局長談	「強い子になってください」「先生、子供の発病は早期発見願います」「ご両親も笑って送ってください」
59	19.08.18	学童集団疎開の第1陣—西灘校ほか18校の社行式	20日に神戸市の学童集団疎開の第一陣を承って西灘国民学校ら18校1,924名の社行式、全員参加。2次は26日、3次は31日出発のはずで、その前日、代表者のみで社行式を挙げる予定
60	19.08.18	家庭作戦—学童集団疎開—何でも自分でする訓練	社説
61	19.08.19	学童疎開—隣組のよしみでどうぞお心安く—伊藤県内政部長岡山・鳥取からかえる	去る15日から3日間にわたり岡山、鳥取両県へ神戸市の学童集団疎開について打合せのため、出張中の伊藤内政部長は、18日「両県とも非常に好意をもってくれているので感謝している」「鳥取県下は山陰線沿いで県境まで便利な所ばかりを選んでる。遠い所でも沿線から1里程度で温泉旅館が主である。従って設備の点では申し分ない。両県とも何処に何名ということはずでに決まっております、25日ころ関係学校長が現地に行き、最終的な決定をする段取りになっている。」「学校の割当は、大体区を中心に県内で但馬方面へ疎開する区の学校は鳥取県へ、播州方面へ疎開する区の学校は岡山県へと同じ方向へやるのが根本方針」「寮母は、土地の事情に通じた人も必要なので、現地でも募っている、大体半数ぐらいだろう」
62	19.08.19	出発を前に—先生も散髪のお稽古、お荷物造りも忙しい	平野国民学校では18日、附添う先生方が散髪のお稽古を始めた。須佐国民学校生徒の荷物造り
63	19.08.19	第1陣の宿舎決まる—21日特別列車で出発	21日出発の学童1924名の出発時刻(特別列車)および疎開先宿舎
64	19.08.19	けふ先生達が出発—現地で食事や寝具の調達と整備	8月18日、神戸国民学校で附添訓練、寮母など約800名が集合。中山市学事課長、大井学校衛生技師から、諸注意や疎開地における保健衛生、応急手当法その他の心得について詳細な指示。また、第1次出発校では、疎開地向けの荷物整理、発送駅との連絡、運搬、疎開地との連絡につとめている。荷物発送は、19日であるが、大部分は18日中には完了。21日までは宿舎に到達。19日に児童に先立ち、別働隊が準備員として現地に赴き、地元と協力して受入態勢を整える
65	19.08.20	正行の心で行く—けふ社行式—現地では皆さんを待っています—学童疎開第一陣愈々あす出発!	第1次疎開部隊1924名は、あす(21日)晴れの佳途につく。
66	19.08.20	感激の社行式	神戸臨海国民学校の疎開学童63名の社行式が19日午前8時半から同校校庭で盛大に挙行された

No	出典(昭和)	見出し	内容
67	19.08.20	荷造りも終る	各校では、兩三日前から学童達の荷物搬送に全校訓導が大量の活動をつづけ19日には、お別れの壮行式が行われた。
68	19.08.20	松陰の心で一疎開学童引率者に饗け、福本県商経会理事長	理事長の談話。
69	19.08.20	疎開問題で懇談一県小国民文化協会	19日、神戸区元町通1丁目国民映画館内児童文化研究室で、「学童疎開と児童文化」の懇談会を開催。「紙芝居、童話、音楽、図書等で疎開児童を慰安することは是非必要なことだが、その慰安方法はどうすればよいか、疎開地との連絡方法、疎開児童の保健問題などを取り上げ、種々懇談」
70	19.08.20	早くいらっしゃいー出迎えて手荷物も運びませうー加東郡から	加東郡の受入準備。
71	19.08.21	けふぞ征で立つ日ー懐かしの校門よ暫しのおさらばー	21日から疎開を開始する。第1陣、西瀬国民学校ほか17校1,900余名の出陣学童たちは20日午前9時から湊川神社で大楠公の霊前に雄々しく小楠公正行の決意を祈誓し、けふ旅立つのだ。神戸学童第1回集団疎開壮行式は、野田市長、伊藤県内政部長、18校の疎開学校長、付添訓導ら参列のもとに挙行された。
72	19.08.22	勝つ日まで神戸よさらばー地元は親切に迎えてくれましたー勝つために行くもの、迎えるものー学童集団疎開第一陣きのふ出発	21日午前5時15分、近畿の先頭を承って三宮駅発特別仕立列車をはじめ、正午発連結列車、さらに零時半湊川駅神有電車で西瀬国民学校ほか17校1900余名の出陣学童は旅立った。県から片山視学官、賀賀視学、市から中山学務課長以下全視学をはじめ関係国民学校教職員が多数見送った。第一陣の特別列車は途中神戸、兵庫、須磨の各駅で最寄校学童を乗せ、正午発普通列車は一路播州路へ、神有電車は平野校児童を乗せてそれぞれ目的地へ。以下、加東郡、印南郡、揖保郡、美濃郡、城崎郡、養父郡、朝来郡での到着の様子を伝える
73	19.08.22	疎開列車は往く	21日の先発列車、神有電車、次発列車の様子を伝える
74	19.08.23	学童疎開ー東方へ朝の挨拶ー	22日は朝5時半起床朝礼の後、父母の在す東方に向かって挨拶ラジオ体操、勝ち抜く誓を朗唱・・・。揖保郡に疎開した東須磨校、若宮校などの22日の様子伝える。
75	19.08.23	第2陣26日に出発	第2陣は26日、23校2193名が付添200名とともに「勝つ日迄」県内播州、但馬地方へ旅立つこととなった。(以下、学校名と疎開学童数、疎開宿舍名)
76	19.08.24	楽し疎開の朝一蚊帳の中から凄い元気ー城崎から第一報	神戸のヨイコたちは疎開地城崎での感激深い第一夜を送りたのしい朝を迎えた。荷物の整理もすっきり終わり22日からヨイコの集団疎開生活は強く明るくはじまった。(以下、真野、遠矢校の様子など)
77	19.08.24	けふ尼崎の第一陣出発	尼崎市の学童集団疎開第1陣は、愈々今24日左の通り出発することとなった。第一陣は6国民学校の児童総員646名である。(以下、校名、生徒の学年・人数、疎開先宿舍名、出発駅・発時刻)
78	19.08.24	月末には鳥取へー9,000余名の県外学童疎開割当決る	神戸市の学童集団疎開の県外班は鳥取県へ9校3479名、岡山県へ15校5623名、計左記24校、9102名と決定、25日頃県市の関係者が現地に出張、細部の調査を行い、宿舍の割当を行った上本月末には道場校ほか第一陣が出発するが、疎開先が旅館の多い関係から受入準備の早い鳥取県が先になる模様である。鳥取県へー林田区二葉校(502)、千歳校(578)、長田校(378)、名倉校(396)、池田校(208)、兵庫ー道場校(461)、川池校(404)、中道校(331)、室内校(221)《以下、岡山県》
79	19.08.25	疎開学童の第2陣ー総勢2,000名が愈々あす出発	明26日総勢2103名の学童が191名の先生、寮母、作業員に付き添われて疎開地目指して勇ましく出発するが、各学校の出発駅、時刻その他がつかぬの通り決定した。(以下、校名、学年・性別・合計人数、出発時刻・駅、疎開先宿舍の記載)
80	19.08.26	疎開先で気づいたことどもー兄妹は同じ部屋にー1週間目位からそろそろ里心	神戸市第一陣に随行して感じたところを記、各方面への参考としよう。(食糧)受入地への精米10日分前渡しだけではもっと早く手配してもらいたかった。副食の方は相当困っているところが多い。(宿舍)旅館を宿舍とする場合、その協力態度に一步進みきれぬものが感じられる。城崎町の場合は、従来通り旅館を経営するのだから当然そこに徹底せぬものがある。学童は少人数に分宿させることになり、調育の不徹底と共に、疎開生活上のあらゆる障害が派生的に生じて来ることは明らかである。あらためて県当局の強力な集団疎開政策が痛感される所以である。(通信)父兄側からも出来るだけ回数多く児童を元気づけ安心させる内容の手紙を出してやりたい。
81	19.08.26	おやつはいりませんー親御さんへー	疎開先に着く早々この学校でも2、3人の腹痛を起し、付添の先生や寮母さんに迷惑をかけている。原因はみんな車中での食べ過ぎ。
82	19.08.26	生活扶助は市区で行うー疎開と軍事扶助ー	軍事扶助を受けている軍人遺族家族の学童が集団疎開した場合は、父兄の負担(月10円)は県で支給することになっているが、県では単身縁故疎開、または集団疎開させた場合における軍事扶助法の施行を行うこととなった。疎開先統後奉公会は学校、集団疎開宿舍と常に緊密なる連絡をとりこれが積極的活動をはかる。
83	19.08.26	疎開後の学校整備ー10月以降へお預けの体ー	県教学課では、学童疎開の善後措置として、神戸内の学校統合、学級整理などの問題につき残留学童数、通学距離等の関係を考慮して研究をすすめているが、諸般の状況が明らかになるまでは全く計画が手につかず、学校整備の問題は10月以降へお預けの形になった。父兄の日和見的な動揺から各校とも縁故疎開数の増減が激しくその数が安定しないため形がつかぬない。集団疎開学童を受入れた郡部校では、1学級最高60名の定員を突破、学級増を申請する一方で、市内校では、学童減から教員過剰となった学校もある。

No	出典(昭和)	見出し	内容
84	19.08.26	けふ第2陣出発一社行会に固い決意一	神戸の学童集団疎開第二陣の壮行式は25日午前9時、湊川神社で挙行された。諏訪山、湊川など18校2250名のヨイコ達。野田市長の“疎開出陣”激励の言葉に、神田校6年平川簡夫君が一同を代表して決意を語る。けふ26日三宮駅特別仕立の疎開列車で、農村のヨイコども待ち待つ農山村に向かう。
85	19.08.26	第3陣、第4陣決る一疎開学童よ進め、学べ一	神戸市の学童集団疎開は、29日に第3陣、9月1日に第四陣が神戸を出発、県内の疎開地へ向かうが第3陣、第4陣の疎開学童および疎開先がつかの通り決定した。 第三次(29日)(以下、校名、学年・性別、人数、疎開先など) 第四次(9月1日)
86	19.08.29	病む母へ傷む童心一疎開学童を繞る母子愛情篇一	神戸校5年生守弘少年の作文「僕は母のことが気になってならない。それは母が腎臓がつかいかかっておられるからである。・・・又母は僕の集団疎開の用意で病気をよけいにひどくしたことだろうと思うと僕は母のことをわすれてやろうと思ってもわすれられないのです」
87	19.08.29	けふ第3次出発	けふ神戸の第3次“集団出陣”する大開、蓮池校など12校1400余名のヨイコ達は28日午前9時から湊川神社で壮行式を挙行。野田市長らの激励のこばに、入江校5年明石幸男君は出陣学童を代表して、宣誓。
88	19.08.29	学童疎開と少国民文化の問題	少なくとも都市文化センターの考え方が土地に密着した農村文化と融合して、新しい文化を形成し、疎開先の文化形態にも良い影響を与え、相共に地方文化の昂揚に拍車をかけることになるだろう。この意味で本社では、兵庫県少国民文化協会と共催で元町国民映画館裏少国民文化協会研究所で、「学童疎開と少国民文化の問題」を採上げ座談会を開催した。出席者：瀬尾武次郎(兵庫県少国民文化協会会長・神戸高工教授)、寺沢智了(同副会長・神戸市立図書館長)ら「先ず土地に親しめ」「図書館問について」「その他の慰安」「保健の問題」「面会、送物、文通」「縁故疎開の学童に対する方策」
89	19.08.29	僕私らの疎開先一県外班きまー	神戸市の第四次集団は、1日と2日に分かれ続々と県内各地の受入れ農山村へ“校舎進駐”を完了するが、岡山、鳥取県下の疎開も決定を見、いよいよ来月十日ごろには県境を越えて神戸のヨイコたちの集団出陣が始まる。(括弧内は疎開学童数)岡山県へ(略)4201名の学童が寺院、旅館、青年校など80余カ所の宿舎に入る鳥取県へ岩美郡岩井町、浦富町へ長田校(312)、八頭郡船岡町、用瀬町、智頭町へ二葉校(369)、気高郡吉岡村、正条村、青谷町へ名倉校(340)、東伯郡松崎村、三朝町へ千歳校(360)、同三朝町へ油田校(178)、東伯郡倉吉町へ川池校(337)、東伯郡浅津村、由良町、八橋町へ中道校(260)、東伯郡赤碓町、西伯郡御来屋町、澁江町へ道場校(380)、東伯郡三朝町へ室内校(163)以上2599名が湯の町三朝の旅館、村の公会堂、寺院などに入るが目下各校では疎開先の町村と宿舎につき現地交渉中で一日までに確定を見る予定
90	19.08.31	疎開学童へ一慰安と激励法協議一	けなげにも敵前配置についた神戸、尼崎両市の学童達に対し、適切な慰安と激励をおくる計画が、県商経会によって樹てられ、これが万全を期するため、9月2日正午から右に関する懇談打合せが同会館で開かれることとなった。出席者は、県市教育関係係官、同教育会代表、神戸(5校)、尼崎(1校)の疎開学校長など。
91	19.08.31	第4次疎開学童壮行式	神戸市の第四次学童集団疎開壮行式は、午前9時湊川神社で挙行、野田市長の訓示、永江市会議員の激励の辞に対し、付添人代表の答辞、学童代表神戸校6年生笠原修君が雄々しく宣誓を朗読、同10時閉式したが、来月の第五次を以て県内への集団疎開は完了する。
92	19.09.01	県内疎開の殿軍一第5次学童軍あす出発一	2日出発する神戸市の第五次学童集団疎開壮行式は、31日午前9時湊川神社で挙行、野田市長、永江市会議員の激励の辞について東須磨校内藤訓導、同校5年濱村宏君の宣誓があつて閉式したが、疎開学童の出発は輸送その他で一部予定を変更。 これで県内の集団疎開は完了し、9月半頃岡山、鳥取組の出発で港都の学童集団疎開は全部片づくわけである。
93	19.09.01	行過ぎに“断”	神戸市内の一部国民学校では、集団疎開に必要な色々の費用に充てる目的で家庭会などの名義で一般父兄から寄付を募集する計画をすすめている向きがある。市学務課では、31日集団疎開実施国民学校校長宛通牒してこれらの行過ぎ現象を厳禁することとなった。 なお、父兄の面会についてもしばらくの間、個々面接を禁じ、その間校長が疎開先と家庭との連絡役を引き受け、適当の時期になれば父兄会代表の派遣その他の方法で疎開学童の慰問を行うことになっている。
94	19.09.01	正確を期する学童転出手続	集団疎開による転出手続が正確に行われぬ場合は相当の幽霊人口が発生、種々の問題を起す恐れがあるので神戸市では、31日配給、振興学務課および各区厚生課長が参集対策を協議した。 各国民学校で校長が町内会別に集団疎開学童の名簿を四通作成して一通は学校に控えとしておき、一通は区役所、一通は町内会に送って町籍簿を訂正した上配給所に廻して集成通帳を訂正、残る一通は疎開先の町村に発送するといふ厳密な転出手続によって集団疎開による幽霊人口の発生を徹底的に防止することに決定した。
95	19.09.01	神戸のお父さん、お母さん聴いて下さい一	けふ1日午前8時の「学童の時間」で、神戸市の第1次疎開入江、川中、須佐各校が和田山に到着した光景や、須佐校学童が疎開先の田園国民学校でヨイトモダチと「仲よくしませう」の挨拶を交わす場面や恵林寺での疎開生活がことごとく録音されている。

No.	出典(昭和)	見出し	内容
96	19.09.02	待っていたあたたかい手ーいとし学童の勝つ旅路から一戦地でうけた慰問文のお礼など	1日の影山市視学視察談 鳥取県東伯郡の受入地を視察して帰った、朗らかな話題(帰還兵士が世話役です) 東伯郡地方事務所勤務の県福田中義人氏は、出征中戦地で受けとった慰問袋や慰問文が殆ど神戸の学童からのものだった。「私は心からの感激を以てうんとお世話したい」(平野校の孫) 倉吉町の内海旅館の主人文三さんは、平野校に通学していた孫さんがお母さんのふみさんとこのほど疎開してきたので、「子供を疎開さす親の気持がよく判りますし、孫が神戸の学校でお世話になっていたのだからご恩返しです」と述べた。
97	19.09.02	県外疎開学校長会	今月半ごろ行われる岡山、鳥取両県への学童集団疎開を控えて、神戸市では市視学及び関係学校長が現地へ赴いて受入側の状況を視察して帰ったので、1日午後3時から多聞国民学校で県外疎開学校長会を開き、具体的に宿舍と収容児童数、輸送その他の計画を協議、決定、各学校で早急に最後の準備を整えることとなった。
98	19.09.07	県外学童疎開出発決るー10日岡山、鳥取両県へ第1陣ー	【岡山県の部】(略、9月10日、11日出発の学校名、人数、宿舍、出発駅・時刻が記載される) 【鳥取県の部】9月10日: △長田校(83) 岩美郡浦富町清風館、観潮楼(兵庫8:53)、△二葉校(131) 八頭郡智頭町新屋旅館、井福旅館(兵庫駅19:35以下同)、△倉倉校(169) 気高郡吉岡村宝泉寺、三谷旅館、中島屋旅館、同郡正条村長泉寺、△千歳校(309?) 東伯郡東郷松崎村谷水旅館、忠成館、■館、△池田校(172) 東伯郡三朝村大橋館、三朝館、稲屋、たばこ屋旅館、△室内校(166) 東伯郡三朝村西■館、赤崎館、礼屋、岩崎屋、御■屋旅館、岩湯旅館、△蓮池校(158) 西伯郡淀江町吾妻屋旅館、入江芳雄氏邸、開花■、不老園、港屋、富田屋△中道校(251) 東伯郡八橋町養気楼、中井旅館、明穂旅館、同郡由良町大谷谷松、田中雄太郎、松井輝雄、遠藤悦郎、米田義■氏邸、△川池校(115) 東伯郡矢送村小川賢蔵氏邸、津島製材店、山根旅館、島■旅館
99	19.09.08	早くもお手伝いだー明るい子供進軍ー現地を訪ねて	疎開先での1日の生活、「質問に答える」など
100	19.09.10	凛々しい壮行式ー鳥取班、岡山班集団疎開学童定並み揃えて一楠公さまのコドモたち	岡山、鳥取両県下へ疎開出陣する神戸市集団疎開学童の壮行式は9日午前9時から湊川神社で挙行、岡山班は13校1275名、鳥取班は千歳、長田、中道、川池など9校1569名の学童が付添の先生、寮母さんと大楠公の神前に疎開出陣の決意を胸に勢揃いし、野田市長の激励に応じて山手校6年植田広志君は「・・・」と雄々しい出陣学童の決意をのべた。騰き入る野田市長はじめ参列の人々は思わずその凛々しさに落涙を感じた。【鳥取班】この疎開列車は、長田校が10日朝8時53分兵庫駅発鳥取に向かい、ついで同夜7時35分発の臨時列車で道場、室内など8校は車中に一夜を明かし11日午前10時前後に現地に着く。
101	19.09.16	学童疎開、運営完遂へー県学童疎開連絡協議会を設置	兵庫県では、集団疎開を県外に実施するに伴い、運営の円滑適正を期するため今回、内政部教学課内に「兵庫県学童疎開連絡協議会」を設置、同規程を近く告示する。 同協議会は、会長、顧問および委員若干名で組織、会長に成田知事、顧問に岡山、鳥取両県知事、大阪、広島両鉄道局長、関係地方行政協議会参事官計6名を、委員には関係部長、行政協議会副参事官、神戸、尼崎両市長、鉄道局業務部長、その他知事において必要と認むるもの(17名)を任命または委嘱、このほかに幹事10名と若干名の書記を置き、幹事には関係県の教学、警防両課長および両市の局部課長の中から知事これを委嘱して庶務を管理し、書記は官公吏中から知事が任命、上司の指揮を受けて庶務に従事するが、顧問は会長の諮問に応じ重要会務に参集、委員は会長の命を受け会務を処理、会長事故あるときは委員中から伊藤内政部長が代理することになっている。 今月末第1回顔合わせを行うが、同協議会では左の事項を協議する。(1) 疎開先の選定ならびに割当に関する事項、(2) 疎開先の校舎ならびに宿舍に関する事項、(3) 疎開先の教育養護に関する事項、(4) 疎開先の物資の配給調達に関する事項、(5) 学童ならびに物資輸送に関する件、(6) その他必要と認むる事項
102	19.09.16	学童疎開県外版①鳥取県の巻(上)	11日早朝から正午前にかけて鳥取県の受入地の各地では東から順々に可愛い神戸の子供達を迎えた。林田、兵庫両区の学校より先発の1450人が109名の先生、寮母、作業員達に付き添われて堂々第2の故郷に到着した。神戸から共に集団疎開列車に乗り込んで鳥取にお願いの挨拶に行く渡辺神戸市教育局長は目を細めて、「神戸の子供も決して弱くない、いや強い子だとしみじみ嬉しく思いました」と記者に語った。 鳥取駅前から30分、気高郡吉岡村には林田区名倉校の6年男子64、女子36、計100人が2台のバスで村の中央に乗り込んだ。 温泉の地鳥取県では、池田、室内両校を受け入れた三朝温泉、千歳校の行った東郷温泉などその収容力と設備を活用して、1万人の内約半数をこれら温泉地に受け入れる予定。「もし配給がいよいよ増えんとなれば、檀家に飯を飛ばせても子供らに飢しい思いはさせません。」6年男子を引き受ける宝泉寺住職の中川潤岳方丈さんは大変な意気込みだ。
103	19.09.17	学童疎開県外版②鳥取県の巻(下) 一繋る忠臣の縁	男女合わせて172名の昭和の小楠公が西伯郡淀江の町に着いたとき、駅前から海岸にかけて出迎えたのは沢山の町の人々と、それから800人の幼い名相長年公であった。600年前同じ南朝の忠臣として歴史に尽忠の名を留めた楠父と名相長年公のつながりは大東亜戦争の裏で只中岡忠臣の遺訓に生きる両地の学童達の手で再び美しく結ばれたといえよう。学童疎開地としては一

No.	出典(昭和)	見出し	内容
			<p>番遣いでであろうこの道場校の子供達を待っていたのは兵庫県神戸市と鳥取県淀江町とのこの床しい歴史のつながりと献身的な町の人々の親切であった。いよいよ神戸の学童が来ると定まると倉光町長の発案で4000戸全町民を会員として集団疎開愛育後援会が出来上がった。11日正午前、道場校の6年男子61名、女子63名、5年男子48名が宿舎に着いた時、もう婦人会をはじめ町の人々の手で銘々の荷物は包みを解いてキッチンと所定の場所に整頓されており、部屋には寝床させ敷きつめてあった。翌日、子供達が町の通りを歩いていて雨に降られるのを見た町の人々は戸毎に傘を持ち出して濡れさせまいとした。こうした中での道場校の子供達が朗らかでない筈はない。開嘉亭、不老園、入江氏邸など8カ所に分宿する子供達……、付近の宇田川、高麗、大和の3村からは供給園からは(ママ)新鮮な野菜、そして濱からは獲れ獲れの魚が……。大部分旅館に分宿している子供達は、広い部屋と行き届いた設備に恵まれている。5年女子を入れている開嘉亭の「あるじ」井川安郎さんは率先して利用を申し出た人だが、「利益を存外に置き、家族同様の気持で奉仕させて戴くつもりです」18日に来る筈の後続部隊も付近の村や町に分宿する。その第2陣を待つ竹一道場校校長と、父兄代表の赤尾家庭会長は、ここにきた喜びを語る</p>
104	19.09.17	面会はこの要領で—疎開学童と親御へ朗報	<p>兵庫県教育課では、面会の許容を計画化し、面会客の無統制を抑制するとともに、輸送の確保をはかり併せて教育的効果をあげることとなり、面会客統制に関する方針を左のごとく決定した。要領：①集団疎開地における1学校または1学級単位に面会日を1週1回、または1旬1回等のごとく定め、計画輸送をはかる。但し、面会日は教育事情ならびに輸送事情を考慮して決定する。②面会員数は、疎開地域に対する線区輸送力と睨み合わせ決定し、なるべく各地域の平均化をはかる(略)。③1泊を伴うものあるいは前日出発となるような遠距離面会客に対しては、面会回数を極限(ママ)する。④縁故疎開児童に対する面会日は任意だが、面会回数は集団疎開に似うよう輸送当局において措置。⑤原則、輸送力は強化しない。⑥輸送機関における輸送ならびに取り扱い上の順位は緊急要務者につぐものとする。措置：①関係府県市ならびに学校当局、関係輸送機関と打合せ、1学校または1学級に対する面会日時を設定する。同一方面地域に対してはなるべく日時の競合を避ける。②面会は、学童1人につき父兄母姉1人とし、関係学校長の発行する面会日時及び場所を記載した「面会許容証明書」により往復乗車券を購入させる。③縁故疎開学童に対しては(略)。④右乗車券は、往路、乗車日指定し左記で前売する△大阪市、尼崎市……東亜交通公社ビル案内所△神戸市……東亜交通公社三ノ宮案内所。⑤前項のため大阪、天王寺、淡路、尼崎、三ノ宮、神戸、兵庫、須磨駅の原稿乗車券販売割当の一部を充当する。⑥地方鉄道軌道に対しても、乗車券の前売または特別窓口を設置など、便宜取扱をなすよう■■する。</p>
105	19.09.18	疎開の残留組をどうする?—疎開忌避の原因—恥ずかしい夜の癖—縁故より懐かしい集団のコドモ	<p>神戸市では、縁故疎開36776名、集団疎開が17594名となっており、結局神戸市に残っている学童数は1、2年を含めて48813名という数字が出ている。文部当局は、初等科1、2年の集団疎開は考えていないと声明した。3年以上の集団疎開対照(ママ)学童の残留組をどうするかは、いま教育担当者を中心に大きな課題となっている。残留学童の生態を見るならば、第1に集団生活に向かない心身上の欠陥のある子供、第2に親の決断がつかずどうしても手放せない子供、第3に家庭内の特殊事情による残留、第4に最近ボツボツある縁故疎開学童の復帰などである。第1の場合—これが全市で約2万人—大きな問題であろう。(残留学童の気持)集団疎開に行けない「ヨイコ」の多くの原因はまずなんといっても軽小便する児が殆どで、その他は身体検査上での疾患児童や家庭的事情に基づくものばかりである。中には、子供の疎開が必要でないことを申し出る父兄もいるが、神戸全校で約2万人もの集、縁故疎開のできない児が残っていることは、「勝つため」の疎開勧奨上、一抹の暗影を「ヨイコ」遠の上に投げかけざるを得なくなる。(略)(子供達は、)本当に羨ましい気持で一杯なのだ。(略)そんな子供の心を知った親も幾度も学校側にくるが学校自体ではいまのところなんとも出来ない。また、まず縁故疎開した学童も、事情の変化によって帰ってくることもあるが、こんな子には学校側としても容易に登校させない。そのため、「学校へもゆげずに、家にいる子は淋しい気持をもってしましておね」とはある先生の語であった。</p>
106	19.09.18	残留学童、親ごさんの話	<p>親としてやはりどうしてもうちの子どもみさんと同じように疎開させてやりたいと思います。(略)とも角、残っている子供に対して、何とかしてやって頂きたいと私達はお願ひしたい位です!</p>
107	19.09.18	教室も半減—市内各校の残留組	<p>長田校：11日に78名、18日に200名を集団疎開に■■し、縁故疎開をすでに528名を出して、■■■■■■■■「ヨイコ」は718名で、このうちいずれにも疎開出来ない児童がおよそ4分の1位あるそうだ。授業はいままで3年以下が2学級であったが疎開してからは1学級になった。</p>
108	19.09.18	学童疎開県外版③岡山券の巻(上)	<p>疎開先での生活の様子</p>
109	19.09.20	学童疎開県外版⑤親心の巻	<p>鳥取、岡山両県ともこの親の気持を汲んでできる限りの準備を整えて神戸の学童を迎えた。これは、近代戦争の激流の中に巻き込まれた不幸を転じて、雄々しく心身鍛磨の好機会としようとする大部会の子供達を頑健な第2の戦力たらしめるための大きな方針から出たものだった。去る11日朝6時学童を</p>

No	出典(昭和)	見出し	内容
			<p>満載した臨時列車が鳥取駅に滑り込んだとき駅頭には鳥取県内政部長が出迎えた。ここで降り立った名倉、二葉両校の可憐な姿を前に語る古城さんの姿と言葉は記者はわすれることはできない。ちょうどその前日、彼の大震災の満一周年の数々の行事に更に復興の誓いを固めた鳥取県がまだその被害の創痍を至るところに見せつつも、国家の子供を引き受ける県民の深い決意にうたれたからだった。(略)鳥取でも岡山でも、どんな隅々の町の一人一人にまでこの気持は浸透しているように思われた。「本当の親心に負けぬ親心を」これが両県の人々が探り当てようとしている努力していることだ。「好意に頼り切るな」だからどの土地でも好意の氾濫なのである。・・・鳥取県吉岡温泉にきている子供が・・・」</p>
110	19.09.21	学童疎開県外版⑥懸案の巻ー待望の新道へ巨歩一 出で傑物・決戦教育に	<p>(冬支度)鳥取県淀江町では、(略)助役さんが先生に話しかけた「どうも少し蒲団がすくなうはありやせんすかな」。いよいよ寒ければ、この親切な町の人々は子供達のために蒲団を供出しかねまい。しかし、そこまで迷惑をかけてはなるまい。県としては速くこの冬支度について準備をすすめる必要がある。(保健)受入先を決定する時の条件の1つとして、無医村や医療機関の少ないところを避けている。(略)今度、厚生省では、疎開学童医療衛生協議会を設けて、疎開地の実情を中央で把握し、徹底した衛生の策に乗り出すと伝えられる。(教育の新道)松山村という言葉が随分今度の集団学童疎開に関係して叫ばれた。ところが若い先生からは、どうしたことか松山村塾という言葉を聞かされなかった。昭和時代の決戦教育を新しく自分たちの手で編み出さねばならない、こうした気宇を先生から感じた。50人をわが子とし、24時間教育をして行こうとする先生は希望と決意に苦い情熱を燃やしている。</p>
111	19.09.27	集団疎開学童についてー寮母は地元出身を一記者 らが提言	<p>◇1つの寮に付添職員1人では無理である・・・配給物から転出転入証明の手続きを職員がかけつり廻らねばならぬ時が多いため、1つの寮に2人の職員は必要・◇1つの寮には高学年と低学年を・・・監督者の立場に起った高学年は自ら責任を持ち好い結果を生んでいるのが多い◇地元出身寮母の力・・・どこでも神戸からの寮母と地元採用の寮母とが半々の様子。土地出身だけにいろいろな点で大いに活躍し、忙しい先生の外交方面を補っている。地元の温情に甘えることは危険。例えば、山陰某地では、県の方から連絡が来ないことを理由に配給物一切を出さなかったところがあった。</p>
112	19.09.28	学童疎開へー調達は100人に3人ー寮母も実情により補充	<p>神戸市では、想像以上の業務多忙を極め、訓導自体が悲鳴をあげている始末なので、今度、調達は100人に対し3人に改め、また寮母も数カ所に分宿の箇所では実際に手が廻らぬため実情に応じて補充することとなった。一方、宿舍関係で冬季の防寒施設など不行届の地方に対しては、改善させるためこれらの経費を含めた38万余円を集団疎開費追加予算として10月4日の市参事会上に上程する。</p>
113	19.09.28	地元の医師を学校医にー疎開児童の保健に万全の構えー	<p>兵庫県では、受入側町村および疎開側(学校)に対し、訓練指導、疾病予防、防疫等につき細部の決意事項を地方事務所を通じて通達。疎開先地元の医師を各分教場所の学校医に囑託することとなり、目下神戸、尼崎両市で各部医師会支部長の推薦を取り纏め中で、両市からの申請にもつき知事が委嘱する。</p>
114	19.10.01	教育は分教場の形式でー学童疎開連絡協議会の初会議	<p>運営の円滑適正を期するため、県内政部に設置された兵庫県学童疎開連絡協議会の初会議は、30日午後3時より県正庁で開催された。会長成田知事をはじめ伊藤県内政部長ならびに岡山、鳥取両県内政部長、近畿地方行政協議会副参事官、大鉄局業務部長、神戸、尼崎両市長の委員に各県教学、警防両課長、両市関係局課長の幹事などが参集。県制定の「集団疎開学童の教育ならびに寮舎生活等に関する要綱」を中心に、協議懇談したが、大体決定を見た。方針は左のとおりである。(教育方針)▽分教場の形式とし実質的運営は地元(疎開先)に委託。教室の租料および両県の関係教員に対しては本県から謝礼をする。▽週1回は必ず地元学校で授業を行う。校舎に余裕のないときは、二部授業でも行う。▽疎開学童は別の学級を作り、派遣教員で授業を行う。▽分教場の看板は当分あげない。(職員ならびに監督)▽現在100名につき2名を3名に増加してもよい。▽派遣教員は地元校教員を兼ね、地元校長の指揮下に入る。▽地元校校長、教員は疎開校の教員を兼ねる。▽寮舎、分教場の経営は所轄地方事務所長の指導監督を受ける。▽派遣教員の賞金は、受入側県と連絡のうえ本県で行う。(寮舎の生活)▽日用品、学用品は従来通り疎開校に一旦配給して、同校から疎開先へ持って行く。▽集団疎開完了後、参加を願い出た場合は、現寮舎に収容能力あるとき許可する。▽寮舎増設は、必要ある場合県から指示する。▽保護者または関係者から教員への金品贈与は如何なる場合でもできない。保護者会等の募金はその種類・金額を県で追って決定する。</p>
115	19.10.01	学童疎開のその後一尾をひく問題ー	<p>(早く面会をゆるせーでないとか抜けが増える)(後援会についてー会費は月に2、3円多額はいけなすがぜひ必要)しかし、この額が難しい問題で、高額なものに定めると、複数の学童を出している家は苦しい。こんな所から集団疎開を離脱する子供が出だしては大変だ。(先生の御苦労ー神様に近い心遣いー金銭には見積れぬ献身ぶり)</p>
116	19.10.01	あれこれ注文帳	<p>岡山、鳥取ではまだ半月そこそこので1日2合8勺程度の配給米でかなり困っている例もある。手続きの関係で6勺の加配が遅れている。1日も早く対策が必要である。</p>

No.	出典(昭和)	見出し	内容
117	19.10.05	まづ冬支度を疎開学童対策協議会が出来た一文相を中心にけふ進発	政府は、冬季対策をはじめとし、幾多緊要な対策の実施を必要とするので、これが施策を強力円滑に推進するためには関係各省および関係都府県の緊密な連絡と不断の強力を一層必要とするので、9月29日の閣議決定により、文部省内に疎開学童対策協議会を設けることとし、4日情報局より疎開学童対策協議会規程を発表した。委員長は、文部大臣、委員は内務、文部の政務官をはじめ関係各省高等官19名がこれに当たり、5日には第一回疎開学童協議会を開催するが、すでに幹事会は3日開催され、「一、冬季対策に関する件、一、学童疎開運営に関する緊急対策、一、学童疎開の視察に関する件」の緊急議案3件を決定、第一回協議会に提出決定の上、関係官庁協力して、迅速にこれを具体化すべく疎開学童に対する諸般の施設は今後急速に整備されるものと見られる。〔疎開学童対策協議会規程〕(略)
118	19.10.05	疫病の対策も十分一県衛生課からお達し一	兵庫県衛生課では、4日受入地の警察署長、地方事務所長宛、予防徹底に関する通牒を発送した。(略)
119	19.10.05	学童疎開視察一子供たちはとても元気で一涙ぐましい地元側の努力に感謝	野政会では関係代議士を各疎開地に派遣、実情を調査するとともに、今後の対策につき具体案を練る。5日すでに東京において、これら派遣代議士の報告材料を基礎として、第1回学童疎開対策協議会が開催されたが、兵庫県では但馬、播州地方を代議士が視察した。
120	19.10.08	親も子も心は躍る一あすから始まる疎開学童との面会一誓成したい旨愛一何とかなしたいバラバラ面会	県市当局から示された面会方法を遵守すれば、1日の面会証発行数が各校疎開学童数の1割となっているため、多い学校で4、5名、少ない学校では1日2名ずつがバラバラと連日疎開地を訪れることになる。どの疎開宿舎でも到着当日から2、3日はきつと数人の下痢患者や腹痛で先生をあわてさせた子どもがあった。その原因は出発に際して親が持たせた食べきれないほどの菓子や間食物のせいで、いままであった「抜けがけ面会」の例に照らしても面会に来る親はきつと何か食物をもってくる。疎開先の付添訓練の立場から言えば、「せつかく1ヶ月、1ヶ月半と子どもたちの腹と体の調子が決まったところへ余分なものをどしどし食べさせられては後の始末が悪い」といふ心配がある。各校の面会方法を検討してみると、大部分の学校がこのバラバラ面会を余儀なくされているが、早い者は10月中におそい者は12月末でない面会できないというこの方法は各校ごとに開かれた父兄会、保護会でかなり糾弾をあげている。そこで、西郷校と平野校では、「集団面会」をさせることになり、・・・
121	19.10.08	温かい心をこめて冬物送り一御蔵校からけふ一斉に疎開地へ	児童達に少しでも寒くないようにと都会の親御達は所属の学校と連絡、冬物をそれぞれ送り出しているが、林田区御蔵校では、8日を期して一斉に送り出す。
122	19.10.08	個々の面会は悪弊一疎開学童の慰問激励の旅から	加印地方、加西地方、揖佐地方、明石地方での様子
123	19.10.13	これで冬も大丈夫一神戸市疎開学童の防寒対策一食糧の不安も一掃します	12日多聞国民学校で市内国民学校校長会議を開いて学童疎開の冬季対策を協議した結果、大体的方針が決定したので、市及び学校で早速準備に取りかかり、疎開地冬の陣に学童の備えを固めることとなった。防寒設備については、お寺の本堂や学校が宿舎となっているところは、衡立式の間仕切りをして出来るだけ寒さを防ぐように工夫し、それが困難な場合は車裡に移転するなり、民家に分宿する臨時措置を講ずる。雪寒地方では暖房も囲爐裡や炬燵、湯たんぽ等出来るだけ十分に、燃料は県当局からの配給のほか地元と折衝して原木を購入、地元国民学校と協力して炭焼きや薪割りなどでたっぷり燃料を確保して冬に備える。 衣料の方は、蒲団、シャツ等は家庭から送られるが、積雪地方では是非なくてはならぬ長靴は特別な配給を期待することができぬので、各学校で父兄その他一般家庭から子どもの古長靴を供出して貰い、長靴のない疎開学童に贈ることになっている。 最後に越冬の食糧は、主食については心配ないが野菜の欠乏備えて降雪前にどっさり野菜を購入しておくほか、塩干魚の配給を受けられるよう関係方面と協議する。
124	19.10.19	寮母さんの手記一日曜毎に魚釣競べ一湖畔の村に疎開の子はすこやか一	鳥取県東伯郡の東郷湖畔、千歳校320名の子供たちをおおつかりしてこの松崎、浅津村に着いたのは、9月19日だった。男子は松崎村の谷水旅館、龍徳寺などの5つの宿舎に、女兒は対岸、浅津村の望湖楼、日之出館など4つの宿舎に入ったが、3、4日間は荷物の整理や生活様式の急変でまくらりだった。私たちの寮舎は日之出館の「第九千歳寮」一湖畔に並ぶ九つの寮舎では母校の少年団組織をそのまま移して3年から6年までの子供たちが仲良く班を営んでいる。こちらに来て1週間目から6年と4年男児は東郷校へ、5年と3年男児は松崎校へ、女兒はみんな浅津校へと3つの村の学校へ分かれて登校している。これから寒さに向かう折から、薪炭や糞糞、高下駄などの用意を村の学校では工作の時間をあけて千歳の子らを指導して、履物や荷を作り近く炭焼屋の火入れも行われることになっている。日之出館の館主江崎定蔵さん(56)夫妻は疎開児40余名のため、全館を提供してくださり、「住」「食」の問題は、この夫妻の献身的な真心によって何不自由なく暮らさせて頂いている。この1ヶ月を反省してみると、わたくしども寮母はともすれば「寮舎の母」である役割を忘れて、洗濯やつづくろい、炊事などには精一杯働いているが、子供らの部屋内の糞、あるいは朝夕登校前、帰寮後などほんとうのお母さん代わりに先生のお手伝いのできていたのだろうかという一点である。(筆者：千歳校付添寮母、桐山宮子さん、夫君は出征中で義兄藤花調達とともに疎開児の教育に挺身している)

No	出典(昭和)	見出し	内容
125	19.10.20	疎開学童冬季対策—先ず防寒具の確保—訓導寮母の増員も必要	政府が、今回文部省内に疎開学童対策協議会を設置したことによって、今後は関係各省との横の連絡、これら各省を通じての都府県との縦の連絡は一段と強化されようが、協議会において決定した事項は間髪を入れずに実行することによって、はじめてその成果が期待されるのである。▲冬季対策(宿舎)(食糧)(燃料)(衣料)(保健衛生) ▲訓導、寮母の待遇改善
126	19.10.20	疎開学童を視に一神戸野田市長ら	神戸野田市長らの一行は、このほど美方郡湯村温泉場に来町、集団疎開した真栗校学童に一場の訓辞を与え激励し、受入側関係者と懇談、謝意を表したが、翌日は浜坂町で同様の激励を与え、状況を視察、正午鳥取方面へ同視察のため同地を出発した。
127	19.10.21	鳥取県まで散髪奉仕	神戸長田管内の理髪店主正木太吉さん(長田町2丁目)高橋貞(てい)さん(前原町)、小谷三次さん(宮川町1丁目)の3人は、去る13日長田国民学校学童160名が疎開している鳥取県岩美郡浦富村へ出張、泊まり込みで地元学童合わせて300名の散髪を奉仕した。
128	19.10.21	母親の旨愛へ警告—疎開の子へ持ち込んだ食物から罹病	17日佐用郡へ疎開中の須磨区大黒校3年生に面会にきたお母さんが先生に内証で子供の好きな食べ物を持ち込んだため、子供は急性腸カタルを起こして・・・
129	19.10.21	街の子から里の子へ—元気な疎開の子ら—野田市長の視察婦来談	県下但馬地方および鳥取、岡山両県の学童集団疎開状況を視察中の野田神戸市長は、20日朝福庁、疎開地の近況を語る。もはや学童たちは、選い朝かな里の子として勉学にいそんでいる。私は一番児童達の健康に心配していたが、現地の有様を見て全く杞憂だったことを知り、肩の荷が降りた感じで帰ってきた。しかし、迫ってくる冬の備えに万全を期さねばならず、今後とも地元の協力を願うとともに関係各方面の御理解、ご努力によって円滑に進めたいと希っている。
130	19.11.08	学童疎開と給食—つけるな大食の癖—寮母に望む“栄養科学の開眼”—一時瘦せたがまた肥ってきた	神戸市立女子商業杉本松子教諭(市視学委員)は疎開学童の給食状態を視察し、その手記を寄せた。疎開してから1ヶ月位に愛児の顔を見て瘦せたこと心配するお母さんは認識不足だと思う。寮母さんへのぞみたいのは、“栄養科学の開眼”であって、その根本原理だけはしっかり掴んでほしい。献立表を見せてもらおうと「大豆飯」とか間食「煎豆」というのがどこでもよく眼につくが、大豆と米と一緒に炊くと大豆ご飯全体の消化率を低下させるし、また間食の煎豆は消化吸収が悪いので感心しない。できるだけ大豆は粉食にし、御飯やうどんにふりかけ、蒸しパン、うどん、すいとんにこね合わせると効率がよい。
131	19.12.27	疎開の子らを語る—冬の対策と健康問題—もうすっかり里の子—身にしむ地元の人々の御親切—本社主催座談会	出席者：片山県視学長、廣田県視学、木元神戸市視学、本条尾崎視学、中島県衛生課技手、神戸市体錬菅沼さん、二宮校谷垣先生、池田校小河先生、川中校山本先生、永井真陽校父兄代表、県芸能奉公会松本、宮岡、谷屋の諸氏。(本社側)富久企画局 他(冬の対策)木本(ママ)神戸視学「ゴム靴は、県の方からもご配慮を願い、相当量が準備出来、県下への分として7000足を送ることになっている。県外の学童には、その県にお任せするはずで、この方も大体行き渡るようになっている」(疎開のお正月)(保健衛生)本社「第1に問題になっているのは、虱」(先生の交替)片山視学「交替問題は全く集団疎開の今後にかかっているので、交替するかしないかはいまのところでは決定していない。画一的に交替することも考えものだと思っている」(縁故と集団疎開の不均衡)木本視学「今後、市としても縁故疎開学童に対しても心遣いすることになっている」
132	20.02.09	成可く疎開先の中学へ—進学希望学童に文部省の方針	疎開学童の6年生は大部分都市の上級学校へ進学する希望を有し、これら児童を東京都は来る20日頃から、他の都市も追々に引き揚げることになっているが、都市の人員疎開は一層強化されねばならぬ状況にあるので、文部省では「上級校進学は疎開先中学へ」と方針を改め、8日地方長官に左の通り通牒を發した。 縁故疎開したる学童は縁故先最寄の中等学校に進学、集団疎開学童中の中等学校進学については、疎開先中等学校に寄宿舎の設けある場合は優先入舎せしむること。また適当な宿泊施設や民家などにして適当なものである場合は、地方庁などで借上げ寄宿舎とすること。
133	20.02.18	望み薄の疎開先受験—願書受付の初日—各校とも1名もなし	県下中等学校入学試験の願書受付は17日から始まったが、神戸市内の場合では、各校ともほとんど1名もなかった。これは疎開している児童の手続きが遅延した関係によるもの。23、24日ごろから出足をみせるものとみられているが、文部省が勧奨している疎開先での受験は先ず望み薄で、ただ縁故疎開児童の一部が疎開先で受験する程度である。 神戸市内中等学校の総受験者数は前年と大差ないものとみられている。
134	20.02.22	帰郷と疎開学童—童心に衝撃怖る—入試に新たな配慮ありや	帰る6年生男女6500名の前には彼らを廻る人々の良識と決意なくては解決できない種々な問題が横たわっている。具体的にいえば、空襲、考査場、職場などがその1つだ。(略)入学考査と職場：考査の際、残留組と疎開組との判断は十分に考慮されるとのことだが、果たして考査に当たる中等学校の先生に集団疎開生活の実際を十分知って戴いているだろうか。中等学校に入る子も高等科に進む子も直接いたいけな見習い工員として生産街に突入する子も行くところは一筋に航空機増産の小さな戦力へである。ところがその子らを戦力化するべき生産陣の人々も今の集団生活にはあまりに無関心に過ぎないだろうか。
135	20.02.25	吹き飛ばす暴風—よく頑張りました—忘れられぬ村人の親切	有り難う先生の御苦勞(八鹿町)大関校6年生 木村ます 他疎開児童の感想文

No.	出典(昭和)	見出し	内容
136	20.03.05	残留学童に負けない入学率—授業時間は少なくとも鍛えた身体	疎開付添訓導畑実氏の手記(下) 更に大きな問題は疎開と進学の問題である。疎開児童が中等学校へ進学する率の如何が今後の疎開が成功するかどうかにかかっているのだ。成功すれば親たちはどしどし児童を疎開させるだろう。(略)進級がうまくいかなければ、今後の集団疎開は困難となるだろうことは想像できる。県当局をはじめ中等学校側の慎重な考査をお願いしたい。
137	20.03.15	学童疎開を強化—甲地区の初等科閉鎖	政府は、9日の閣議で「学童疎開強化要綱」を決定、14日情報局より発表された。疎開実施地域を甲乙の2地域に分け、甲地域においては徹底的疎開を実施し、縁故疎開を勧奨した上、あとの全員を集団疎開せしめる。1、2年生で縁故のないものに対しては、隣組などで訓育を主とした教育を講ぜしめ、校舎は閉鎖される。乙地域では、従来程度の疎開を実施する。地域の指定は、両3日中に決定発表される予定。
138	20.03.15	学童疎開の強化	帝都の国民学校を閉鎖。出来るだけ縁故疎開を強力に勧奨するため、授業をやめることに決定した。
139	20.03.26	神戸の皆様お元気ですか—疎開学童から本社へ	美濃郡三木町に疎開している生徒から神戸新聞社に感想文
140	20.03.31	3年以上は全員疎開—神戸、尼崎両市も甲地域に指定	神戸、尼崎両市も甲地域に指定され、30日文部省から県当局へ指令が到達。両市の国民学校は初等科は、授業を中止し、全員疎開で残留組も一人も残さず縁故または集団疎開させ、1、2年も強力に縁故疎開を行わせる。疎開できない学童は町内会または隣保単位で訓育を主とする寺小屋式教育を行うことになる。また、両市以外も疎開の必要に迫られているので、西宮、伊丹両市および御影町の学童疎開についても防空総本部に申請中である。
141	20.04.09	1、2年の集団疎開も受附ます	新学期に入り神戸市内の3年以上の学童は、縁故、集団の両疎開によって根こそぎ疎開することとなった。他方、1、2年の児童も大体的な縁故疎開について父兄の希望により集団疎開を実施するが、これについて6日の入学式当日、各校長は父兄に縁故疎開の勧奨と、集団疎開の実施方針を説明したが、一部に混乱があった。市当局に方針をただしてみたところ、1、2年の集団疎開は20名なり30名なりが—学校で纏まらぬと実施されぬが、どしどし受付たうえ早急に疎開地に送出す。
142	20.04.10	学童根こそぎ疎開—残留組は万年落第、低学年は町で寺小屋教育	神戸市の残留学童に対する教育方針について、有吉市総務局長よりの回答「同級生は皆疎開地で勤務に従事する傍ら勉学しているとすれば、疎開しないで市内に残っている者は3年生なら万年3年生でいるようになっても仕方がない。」
143	20.04.12	残留組は全校極めて20数名—「学童疎開」が描く神戸の学園風景	予定していた割当数字なんか問題でない、神戸からは学童の姿はほとんど見えなくなるであろう。
144	20.04.16	尼崎のヨイコ—1、2年生も集団疎開—父兄も協力、どうぞ縁故疎開を	縁故のない者は初等科1、2年生も集団によることとし、市当局では目下宿舍の準備を急ぎ、遅くとも20日前後までには送るべく輸送計画を立案中。南沢市学務課長「寺子屋式の教育を施すというが、これは当てにならないことを父兄は承知して貰いたい」
145	20.04.20	鳥取、岡山へ新部隊1,500名—乙地域は3年以上が県下に疎開—ヨイコの根こそぎ疎開	甲地域に指定された神戸、尼崎両市における学童の根こそぎ疎開を1日も早く完遂すべく県内および岡山、鳥取両県下の既疎開地で余裕のある宿舍には各学校ごとに準備出来次第どしどし疎開させているが、なお相当宿舍を新設する必要があるため、中田視学官が岡山、鳥取県に出張、折衝の結果早速話がまとまったので、近く約1,500名の新疎開部隊が両県へ出発する。…県内疎開は罹災校が多いため疎開学童数が昨年と大差なく、十分宿舍の余裕で賄うことが出来たがこんどの空襲で被害を受けぬ学校の疎開先になっている岡山、鳥取両県は、かなり人数が増え、宿舍の新設が必要となったので、岡山県で1,117名、鳥取県で346名の宿舍を新しく増設することになったわけである。…近く乙地域に指定される阪神間町村についても3学年以上は県下学童が疎開している付近へ疎開さすべく宿舍の準備を進めている
146	20.04.24	1、2年仲よく一緒に—お寺か集会所で昼の練成教育—残留組	残留1、2年残留学童は神戸市で約8,000名、尼崎市で約1,150名あり、その教育は国民学校の教則に則ること勿論だが特に練訓練を重視し、耐乏敢闘の精神を涵養して決戦下に必要な国民の基礎的錬成に主眼をおく。授業は、寺院とか集会所、邸宅その他適当な施設を利用する。これらの教育施設は各施設を単位とし、国民学校長を中心に経営するが、従来の通学区域にかかわらず最寄りの学童は全部収容する。学童の編制は1、2年合体の複式編制で、学童数はなるべく少数にまとめ学童百名につき4名の教員をつける。授業は、毎日午前中2時間程度で、事情に応じて適宜伸縮し、学習は予め学習予定表を示し、家庭または隣保の積極的な協力を得て自学自習に努めさせる。
147	20.05.19	集団疎開地きまる	阪神間重要地帯における国民学校の学童集団疎開は文部省で特に疎開地域として指定せず、神戸、尼崎両市に含めて一括処理する旨指令があったので、兵庫県では早速準備に着手、西宮、芦屋両氏の学童2800名は岡山県、武庫郡御影、住吉、魚崎、本山4ヶ町村の学童1600名は鳥取県、兵庫師範附属の学童175名は県下へそれぞれ集団疎開させることとなった。集団疎開するのは3学年以上の学童で、伊丹、明石両氏その他の町村については、集団疎開は行わぬが、縁故疎開を強力に勧奨する。
148	20.06.03	学童疎開—多い残留組3年以上—悩みの名案「寺子屋」教育	残留を認めぬはずの3学年以上の残留組が実際は相当数に上り、残留組教育に大きな悩みを与えている。…神戸市の如きは3000名を越える有様で学童疎開強化要綱にはこれが取扱については何ら触れておらず、兵庫県でもその処置に悩み、文部省とも打合せの結果、これらの学童を野放ししておくこ

No	出典(昭和)	見出し	内容
			とは不良化を馴致するばかりでなく、未就学児童を認めることとなって国民教育上面白くないので、1、2年に準じて寺子屋式の躰教育を行うことになった。また、寺子屋式教育も学校以外の適当な施設を求めることが困難で殆どの学校が未だ校舎を利用している状況だが、学童疎開および残留児童教育の不徹底につき関係当局の一段の努力と市民の積極的協力が望まれている。
149	20.06.08	戦災学童も合流疎開	神戸市残留学童で今次の空襲によって戦災を被った児童に対し、神戸市では1、2年生はもちろん3年以上の高学年生も希望により集団疎開を受け、すでに疎開している県内外の集団学童と合流させる
150	20.06.08	疎開の子は元気一ぱい第2の故郷“谷内村”で開塾の嶺	飾磨郡谷内村に疎開している神戸、柳田校のヨイコ30名は最近新しく10人のお友達をむかえた。何不自由、不安もなくスススと伸び陽灼けた肌色も逸しく部の子の姿は微塵もみせず先生や村の少国民に教えられて郷鎮を輝い開塾することを覚えた
151	20.06.14	学童の急速疎開一姫路市内各校に断行指令	
152	20.06.20	阪神間の学童集団疎開完了	受入地との打合せその他の準備が整ったので住吉校が19日、魚崎、本山第一、第二校が20、21日、御影第一、第二校が23日それぞれ鳥取県へ出発することになったがこれで本県の学童集団疎開は完了したわけである。
153	20.06.21	第1陣岡山へ西宮の学童疎開	西宮市の学童疎も25、26日ごろには第一陣が出発する運びとなった。疎開先を視察し、地元との打合せを終わった関係学校長も帰来したので20日から荷物の取り纏めと発送に着手した。疎開学童は全部で1800名。
154	20.06.22	不屈の“神戸の面魂”一国民校篇	神戸市内の国民学校はその相貌をすっかり決戦色に変えてしまった。どの学校でも大和魂の教養に伝統を持つ、寺子屋教育の昔に選った教育殿堂が復活し、空襲の合間を狙って訓育が行われている。学科教育はやらす躰だけの訓育をやることとなっているが、神戸だけ独自に活を入れた。訓育の半分は知的教育へふりむけた。・・・世間では残留学童は”どうせ疎開もせず残っている学童だから躰位の訓育でよい”とあったの考えるものや、ひどいになると残留学童だと侮辱する向がある。なかには訓導のうちにも残留学童訓育を軽くみているものもある。・・・3年生以上の残留学童は市内にまだ3000名もいる。市学務課では仮令文部省から、県からお叱りをうけても師弟の情として見るに堪えないと、今回全部登校せしめて、少年団訓練を眼目とした訓育を行っている
155	20.06.22	麦刈りに疎開の歌高らか	武庫郡本庄校の疎開学童たちは、疎開先の神戸郡栗賀村吉祥寺で朗らかに学んでいる。食糧増産の勸勞奉仕に総出動。
156	20.06.23	疎開児も草履作り	赤穂郡高田国民学校では、薪炭と食糧の増産に全校生徒が幼き特攻隊となり、疎開の子供もともに交じっての睦まじき
157	20.06.29	疎開児に優しいお巡さんご恩返しに村のお手伝い	昨年10月多可郡比延庄村に疎開してきた尾崎本庄国民学校のヨイコたちに対し、村民は心からの同情をよせ。
158	20.08.10	岡山、鳥取、集団児童の再疎開	敵機の中小都市空襲激化に伴い兵庫県では、地方重要都市の集団疎開児童を再疎開してヨイコの生命を護ることになり、目下準備を急いでいるが近く宿舎も決定、再疎開を行うことになった。即ち岡山県津山、瀬戸、笠岡方面および鳥取県倉吉の集団疎開児童は付近の農山村へ、県内でも重要な地方都市六地区に比較的大集団で疎開している児童は付近農山村へ再疎開することとなっている。
159	20.08.10	南瓜も丸々と一疎開学童が丹精の蔬菜	西播磨野町に集団疎開中の神戸市東須磨校児童
160	20.08.10	疎開学童に村人の贈物	揖保郡では神戸市東須磨、若宮、大■各国民学校の児童に南瓜500貫を寄贈
161	20.08.10	学童集団疎開明石でも計画	
162	20.08.16	疎開学童の教育続く一戦い止んだが今しばしの辛抱	疎開していた学童は全国に40万いる。この少国民たちの“掃蕩”はかかる状態に立ち入っていつ実現されるだろうか。・・・親も子も自分は国に捧げた身体、子は犬みだからという事柄を決して忘れてはならない。先に文教の府は、たとひ如何なる事態が到来しようとも国民学校教育だけは継続すると宣明、そして現在疎開地で辛苦と闘いながら教育を継続しているのである。しかし、戦いが止んだからといって何ら学校施設のない戦災地に少国民を呼び戻すということは徒に混乱をまき起こすばかりでなく、皇国民教育捨てることとなるのである。従って、文部省としては戦災地国民学校が正しい教育が出来るように整備されるまで疎開地に踏みとどまることを切に要望している。・・・当初、予期した空襲はあまりなかった、そのため余の非難も多かった
163	20.09.02	疎開学童も今学期一神戸各国民学校の復興進む	神戸市内国民学校の戦災状況は全部で77校のうち全焼19校、一部焼失20校、合計39校。これらは全部付近の隣接校などで残留学童に授業を行い、8月末で一学期が終わって9月から2学期に入ったが、この国民学校の復興については市当局で目下立案を練っている。これとともに見通しがつかない疎開学童の復帰についても何らか対策を練らなければならないが、先ず学童疎開の復帰は早晚実現するものと予想され、しかもその機会は早ければ今学期内に来るものと見られるが、しかし、難関は縁故疎開でこの復帰される数字は今のところさらに見通しがつかない状態にある。疎開前には約13万人の学童が市内にいたわけだが、現在の残留学童は僅か7500人に過ぎない。そして、これに対し、集団疎開は18000人であり、他は疎開したわけだが、しかしこれが全部復帰されるものではない。現在神戸市の人口は戦前の約3分の1に減少しているから、神戸市の学童も4万人程度とみるべきで、従って縁故疎開の復帰数も2万人程度と見られている。よって、学校数も77校のうち全焼した19校程度の数字は必要なしと予想されている。

No.	出典(昭和)	見出し	内容
164	20.09.15	疎開学童一引続き現地で教育一但し、神戸、尼崎市以外では保護者の状況により引取り	政府では、最近一般生活必要物資欠乏の影響を受けて集団疎開学童の食糧その他必需品についても憂慮すべき状況の地方もあるので、兵庫県では受入関係当局は食糧の配給改善、入手斡旋ならびに自給指導等に、疎開関係者は食糧の自給方途および管理等に一層の工夫を図り、かかる事態の発生防止に遺憾なきようこのほど疎開市長ならびに地方事務所長宛通牒した。また、疎開児童の引取方法については、保護者の状況により学校長で児童の保全が真に期し得られる場合に限り帰宅せしめることが出来、転入者を抑制している神戸、尼崎市への帰宅は許可せぬこととした。(県教学課誌) 出来るだけ早く学童疎開を全面的に解除したいのだが、政府の方針もあり、殊に神戸、尼崎市は転入者を抑制しているので両市以外への帰宅は保護者の状況によって適宜許可することにした。
165	20.10.11	続々懐かしの郷里へー疎開学童・元気で引揚げ	武庫郡では9月29日から10月1日にかけて鳥取県から引き揚げた本山第一、第二をトップに、…住吉は25日、御影第一、第二は20日前後いずれも鳥取県から引き揚げる。神戸市は、南須磨校210名が10日に疎開地を引き揚げたほかは、11月中に全部帰郷する
166	20.10.21	引揚げ学童にお別れの秋祭	六粟、赤穂など
167	20.10.21	疎開学童の帰神本極り	今月27日から米月の5日までと本極りとなった。27日：長田、道場、中道、川池、室内、池田、名倉校（以上■■■駅着）、28日：■■■校（三宮駅着）・・・
168	20.10.30	お母さん！喜しき臉は潤む空襲の跡ー但馬の疎開学童元気で帰神	但馬地方の学童1100名は29日特別仕立の学童列車で兵庫駅に着いた。印南郡は、11月3日帰還、山崎からは米月4日。